

(臨床研究に関する公開情報)

岡山医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

呼吸器感染症関連ウイルスの重複感染が RS ウイルス感染症の臨床像におよぼす影響の研究

[研究責任者]

独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター 小児科 金光 喜一郎

[研究の背景]

RS ウイルスは成人では風邪の原因ウイルスの一つですが、小児患者に感染した場合には呼吸窮迫や経口摂取不良による脱水症を認め、全身状態が悪化することがあります。重症の場合は入院治療が必要であり、特に 1 歳未満の乳児や基礎疾患のある小児では集中治療を必要とすることがあります。したがって入院適応の評価や症状の増悪を予測するためのリスク評価が重要です。

昨今、COVID-19 の拡大を予防する観点から、multiplex PCR という検査を用いた呼吸器感染関連ウイルスのスクリーニングが頻繁に行われています。この検査では RS ウイルス以外の複数のウイルスが対象になりますが、高い頻度で RS ウイルスに 1 つ以上のウイルス感染が合併していることがわかっています。他の呼吸器感染症関連ウイルスの重複感染が RS ウイルス感染による症状に及ぼす影響を解明できれば、感染したウイルスの組み合わせや数を考慮して、適切な治療方針の決定に役立つと考えられます。

[研究の目的]

本研究では RS ウイルスによる呼吸器感染が原因で入院加療を行った小児患者さんにおいて、重複感染した呼吸器感染関連ウイルスの種類および数による治療内容や臨床経過の違いを調べることを目的とします。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

RS ウイルス感染症の患者さんで、西暦 2020 年 11 月 1 日から西暦 2021 年 9 月 30 日の間に Film array を用いた multiplex PCR の検査を受けた方

●研究期間

本研究の倫理審査委員会承認から西暦 2022 年 12 月 31 日

●利用する検体、カルテ情報

カルテ情報：

- 1) 患者基本情報：診断病名、年齢、性別、PCR を受けた日、入院日、退院日、既往歴、周産期歴（在胎週数、出生時体重、仮死の有無、分娩方法）、処方薬
- 2) 入院時の Film array を用いた multiplex PCR の結果
- 3) 入院時の血液検査：静脈血 pH, 静脈血 pCO<sub>2</sub>, 白血球数、好中球分画、CRP
- 4) 入院時の画像検査：胸部単純写真、胸部 CT
- 5) 入院中の治療内容：全身ステロイド投与の有無、短時間作用型  $\beta$  アゴニスト吸入の有無、抗菌薬全身投与の有無、酸素投与期間、ネーザルハイフロー使用の有無、気管挿管の有無

●検体や情報の管理

カルテ情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者である小児科 金光が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

独立行政法人国立病院機構 小児科 医師 金光喜一郎  
〒701-1192 岡山県岡山市北区田益 1711-1  
TEL: 086-294-9911 / FAX: 086-294-9255  
E-Mail: kanamitsu.kiichiro.mc@mail.hosp.go.jp